



山陽学園大学

(岡山県)



講義だけでなく、研修旅行・祭り参加等を盛り込んだプログラムです。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1886年(明治19年)、山陽英和女学校として誕生した山陽学園は、現在、大学院、大学、短期大学、高校、中学校、短期大学附属幼稚園の6機関から構成される総合学園になりました。

大学は1994年に開学し、看護学部・総合人間学部(生活心理学科、言語文化学科)・地域マネジメント学部の3学部、4学科で、同じ敷地内に食物栄養学科と幼児教育学科を持つ短期大学、そして短期大学附属幼稚園があります。

大学、短期大学併せて学生数1000人程度の小さな大学ですが、それだけアットホームな雰囲気、教員と学生の距離が近く、教員が親身になって相談に乗ってくれるという利点があります。

クラブ活動も盛んで、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、軽音楽部、茶道部、児童文化部、日本語ボランティア部、うらじゃ部などが熱心に活動しています。毎年8月に行われる「うらじゃ祭り」には、留学生・日本人が一緒になった「山陽学園大学ワンダフルワールド」チームで参加しています。さらに、日本語・日本文化研修留学生や中長期留学生のような、半年から1年を本学で過ごす学生のために、日本語ボランティア部の学生が、日本語指導や生活のサポートを担当しています。

また、大学の総合人間学部・言語文化学科には、中国、韓国、台湾、ベトナムから留学生が来ており、和気藹々とした雰囲気、勉強に励んでいます。常勤・非常勤教員としては、日本人の他に、中国人、アイスランド人、イギリス人、韓国人のスタッフがいます。

② 国際交流の実績

受け入れに関しては、韓国、台湾、オーストラリア、ポーランドの大学間協定校や高校の姉妹縁組校から、中長期留学生、インターンシップ生、日本語・日本文化研修留学生を受け入れています。また、台湾からダブルディグリー生も受け入れています。派遣に関しては、アメリカ、オーストラリア、韓国、台湾、中国、ニュージーランド、ポーランドの協定校や姉妹縁組校に、中長期留学、語学研修、日本語教育実習、異文化理解実習で訪問しています。

大学間交流協定数 17大学
姉妹縁組校 2高校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2018年：留学生数65人、日研生1人
2017年：留学生数78人、日研生1人
2016年：留学生数78人、日研生1人

④ 地域の特徴

岡山県は、「晴れの国 岡山」と言われるほど全国の中で「晴れの国」が最も多く、瀬戸内海の温暖な気候に恵まれた県です。フルーツ王国として昔から桃やぶどうが有名でしたが、近年は津山ホルモンうどん、蒜山焼きそば、日生のかきのお好み焼きなど、B級グルメ王国としても注目されています。その岡山県の南部にある、人口約70万人の県庁所在地・岡山市は、中国地方の交通の要で、四国・九州・山陰・関西のいずれの地方に行くにも便利だけでなく、日本三大庭園の一つである後樂園など、歴史的な見所も多いです。また2月には、奇祭「西大寺裸祭り」、8月には桃太郎にちなんだ「うらじゃ祭り」も行われます。

■コースの概要

① 研修目的

(a) 日本語・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

日本語・日本文化の両方が学べます。小規模大学の特色を生かし、学部生と同じ授業に出席することで、日本人及び留学生との交流を図ります。また、講義の受講に留まらず、演習科目を受講したり、祭りや研修旅行に参加したりすることで、日本での体験を増やし、理論と体験を組み合わせたプログラムを組んでいることが特色です。

③ 受入定員

2名(大使館推薦1名、大学推薦1名)



④ 受講希望者の資格、条件等

日本語能力試験N3以上を取得、あるいはN3以上相当の日本語力を持ち、学部の授業についていける日本語力のある者。

⑤ 達成目標

- ・日本語力の向上。
- ・日本への理解を深める。
- ・日本を知ることによって自国への理解を深める。

⑥ 研修期間

2019年9月24日 ～ 2020年8月10日（予定）
修了式は8月9日を予定（2018年は8月7日）

* 授業は9月24日から開始される。前日までにオリエンテーションを行うので、22日頃までには来岡しておくこと。奨学金支給期間は2019年10月から2020年8月まで（ただし、8月半ば以降まで日本に滞在すること）。

⑦ 研修科目の概要・特色

以下の4種類を主として実施する。

- (1) 日本語能力向上のための必修科目
 - (2) 日本文化関係の科目
 - (3) 日本に触れるアクティビティ系の科目
 - (4) 修了研究に関する科目
- 合計28単位以上とする。

1) 必須科目 8～10単位

①日本語 8科目8単位（日本語のレベルによっては初級2科目2単位の代わりに他の科目を履修）

②日本事情 2科目2単位

2) 見学、地域交流等の参加型科目 6単位

①異文化理解演習Ⅰ、Ⅱ 2科目4単位

②日本語交流体験

- ・日本語ボランティア部員との日本語会話、交流
- ・大学祭での絵本の読み聞かせ（翻訳を含む）
- ・ホームビジット体験
- ・幼稚園見学、園児との交流
- ・中学校・高校などの見学、生徒との交流
- ・うらじゃ祭り参加、裸祭り見学
- ・日本語弁論大会参加または見学
- ・留学生一日旅行、新入生リエンション参加
- ・入学式・卒業式、ゼミ発表会等見学

③就職活動体験

- ・就職説明会、就職懇談会等への参加

④クラブ活動等参加

⑤日本文化体験（自己選択）

- 例：演劇鑑賞、研究会参加

⑥自国文化紹介体験（自己選択）

- 例：地域から依頼された活動

②～⑥で2単位

3) 修了研究の内容 4単位

- ①日本語・日本文化に関するゼミを受講する。（特別研究 2単位、卒業研究Ⅰ 2単位）
- ②自分が選んだテーマについて、レポートを作成する（4000字以上）。

* 時間割の関係などでゼミを受講できない場合は個別指導。

4) 日本人学生との共修の機会

- ①2)に挙げた「参加型科目」
- ②3)に挙げた「ゼミ」
- ③5)に挙げた「その他の講義、選択科目」

5) その他の講義、選択科目等

以下の①～③から選択 4科目8単位以上（必修科目、参加型科目、修了研究との関係で履修科目数は異なる。）

- ①日本を知る科目
日本史、日本文学特講、古文書学概論、日本文化論など
- ②日本と諸外国の交流について知る科目
日中交流史、朝鮮の歴史と文化など
- ③その他
心理系、ビジネス系、情報系、英語系の科目

注)

- ①日本語・日本事情科目
1単位 15回（1回90分授業）
- ②講義科目
2単位 15回（1回90分授業）



⑧ 年間行事・年間スケジュール

- 9月 渡日、オリエンテーション
(9月20日頃)
- 10月 日本語・日本文化研修留学生歓迎会
創立記念式典参加(中学校・高校見学)
大学祭参加
- 11月 留学生1日旅行参加
就職懇談会参加
- 12月 クリスマス会参加
- 1月 ホームビジット体験
- 2月 ゼミ発表会参加
裸祭り見学
- 3月 卒業式見学
- 4月 入学式、新入生オリエンテーション見学
中長期留学生歓迎会参加
吉備路お茶会参加
- 5月 幼稚園見学、園児と交流
- 6月 オープンキャンパス参加
- 7月 日本語弁論大会参加または見学
- 8月 うらじゃ祭り参加、修了式
帰国(8月3週目頃)

⑨ 指導体制

・共生・グローバル推進センター委員、日本語担当教員が主になって指導する。

・日本語ボランティア部の部員(主に総合人間学部言語文化学科の学生)が交流の計画を立てたりサポートをしたりする。

⑩ コースの修了要件

・コースの修了要件 28単位以上取得

・修了証書 大学から発行

■宿 舎

留学生向けの寮はありませんが、大学の近くにはアパートが多くあり、大学で紹介することが可能です。他大学から来た中長期留学生と一緒に住むこともあります。

①月払いでゲストハウスのような宿舎の場合、月3万円～4万円(個室、共同風呂・トイレ・台所有。電気代・ガス代・インターネット代込)です。敷金(最初に支払うお金。2万円程度。帰国時に一部返却される場合もあります)を最初に支払う必要がありますが、家賃は月払いです。

②アパートの場合、2人1部屋で、月約4万円(風呂・トイレ・台所・家具有。電気代・ガス代・インターネット代込)です。入居時に11か月前払いなので、約50万円(退去時の清掃代・鍵交換代を含む)を外国送金または入居時に一括現金で支払わなければなりません。

*岡山は自転車王国で、本学から駅周辺まで、自転車で行くことができるため、交通費がほとんどかかりません。自転車は本学が用意します。



■修了生へのフォローアップ

現時点ではありませんが、日本語担当教員が日本語・日本文化研修留学生の国を訪れることがあるので、その際に会って様子などを聞き、フォローアップに努めています。今後はその様子を本学HPで紹介する予定です。また、修了生は、在学時に知り合った学生たちと、個別にネットワークを構築しています。日本語担当教員とも、メールで連絡を取り合うことができる状況を作っています。

■問合せ先

<担当部署>
山陽学園大学共生・グローバル推進センター

住所：〒703-8501
岡山県岡山市中区平井1-14-1
TEL： +81-86-272-6254 (代表)
FAX： +81-86-273-3226 (代表)
Email：chie@sguc.ac.jp (担当者)

<ウェブサイト>
山陽学園大学：
<http://www.sguc.ac.jp/>

日本語日本文化研修留学生コースガイド
<http://www.sguc.ac.jp/international/nikennsei>